

# 週刊 鋼構造ジャーナル

2024  
1/15 NO. 2170

週刊(毎週月曜日発行)/購読料・1カ年52,500円(税・送料込み)/昭和55年9月26日第三種郵便物認可/発行者・株式会社 鋼構造出版/発行人・田中貴士 編集人・大熊稔/本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三惠ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077/大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603/札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636/振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873/郵便振替口座 東京00130-9-13713

専門紙

破壊・非破壊  
エンジニアリング  
建材・防食  
産業・プロジェク

▶2000人以上が平和や愛などへの想いを書き記す「レノン・ウォール」



大分県のHグレードファブ、清松総合鐵工(宇佐市、清松芳夫社長)はこのほど、本社入口横の壁に自由と平和の象徴として「レノン・ウォール」を制作した。2000人以上が平和や愛などへの想いを書き記している。「レノン・ウォール」はチェコや香港にある壁で、ジョン・レノンに関する落書きから始まり、国際問題や自由について人々がメッセージを書くようになったもの。2022年にロシアがウクライナに侵攻、昨秋にはパレスチナとガザ地区の間でも軍事的衝突が発生し、われわれにとつて命や平和について考えることが増えている。清松社長は「不都合なことが起きた時、私たちは何ができるのか。一人ひとりが平和について考え、行動しなければならぬ」とし、そのきっかけになればとレノン・ウォールを制作。従業員や同社への来客らが壁に向かい、平和や愛について考え、メッセージを記す。

## 「レノン・ウォール」を制作

平和への想いが集う  
清松総合鐵工(大分)

基調作画はスプレーアートクリエイターのsatoshiさんが手掛け、メッセー지를記した中には衆議院議員の岩屋毅・元防衛大臣(メッセーじは「人が人を思うことが人生のすべて」)らがいる。